

所属学科：生物・化学科

氏名：二宮 幸太

派遣期間：2017年3月12日～2017年3月19日

派遣先：台湾、台湾師範大学

0. はじめに

2017年3月12日～2017年3月19日、台湾において大学や固有の地質、地形の観察を行った。台湾では日本では見ることのできない生物や地形が観察することができた。また、比較的航空費も安く、治安も良いため留学に向いている。今回のプログラムは坂井先生と山中先生の同伴のもとに行われた。本プログラムを進行していただいた台湾師範大学の学生、教授に感謝の意を表します。本プログラムの日程およびその概要を以下に示す。

- 1日目：移動（福岡～台湾）
- 2日目：大学内見学、講義（生物系）
- 3日目：フィールドトリップ（タロコ国立公園、アジアセメント自然公園）
- 4日目：フィールドトリップ（プレートの境界観察、北回帰線観察）
- 5日目：フィールドトリップ（ゴールドミュージアム、野柳地質公園）
- 6日目：講義（数学系）
- 7日目：講義（化学系）
- 8日目：移動（福岡～台湾）

1. 台湾の街並み

台湾では日本と比べバイクで移動を行っている人が多くいた。台湾の公用語は中国語であり、街では漢字のみの看板を多く見かけた。また、第二外国語として英語を話することができる方も多くいた。台湾の料理は日本と味付けも近く食べやすい味であった。



図 1,2 左：台湾の街並み、右：食事風景

2. 台湾の地形

台湾は、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境界に位置している。また、北回帰線を境界として、北は、亜熱帯気候、南は熱帯モンスーン気候に分類することができる。この気候により、日本では見ることのできない生物が多く観察することができた。

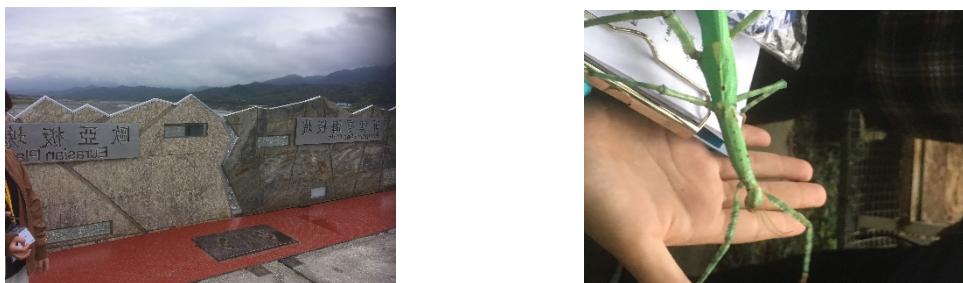


図 3,4 左：プレートの境界、右：台湾のナナフシ（昆虫）

3. 台湾での講義

台湾師範大学の講義に参加した。自裁の蛇に触れるなど日本ではあまり経験をすることができない経験ができた。また、普段は化学についてしか学んでなかったため他の理系科目がどういったことを学んで研究しているのか知るよい機会となった。講義はすべて英語で行われましたが、わかりにくい箇所はわかりやすいように言い換えてくださったので理解することができた。数学のパズルの世界記録を持っている方の講義もありとても貴重な体験となりました。



図 5,6,7 左：蛇の写真、中：化学実験の写真、右：数学でのパズル

4. 最後に

今回の海外派遣プログラムは、初めて海外に行くのには行きやすいプログラムと聞き参加しました。大学生活の中でこういったプログラムに参加したことがなく、日本以外の文化や環境に触れてみたいと思い参加お希望しました。実際に参加してみて日本にいただけでは感じる事ができなかった国際感覚というものが身をもって感じる事ができました。英語にあまり自信がなくても参加することによって得るものが多くあるのでぜひたくさんの方に参加してほしいと思いました。